



「歯周病と全身疾患」 二階堂雅彦先生 インタビュー

本日はお忙しい中、また休診日にもかかわらず、取材をお受けいただき、大変感謝しています。

先生の「二階堂歯科医院」のホームページを拝見しますと『日本人はこうして歯を失ってゆく』というタイトルのご本が紹介されています。サブタイトルに「専門医が教える歯周病の怖さと正しい治し方」と書かれています。表紙カバーの帯には「「日本歯周病学会」プラス「日本臨床歯周病学会」初の公式本」とあります。

歯周病・臨床歯周病の両学会の「公式本」が初めて出された、ということ自体

が非常にショッキングなことではないでしょうか？

中でも、いわゆる成人病＝「脳梗塞」「心筋梗塞」「糖尿病」「誤嚥性肺炎」などと、歯周病が密接な関係があるくだりには一番驚きました。

「歯の健康」と生死にかかわる「成人病」に因果関係があるとは思ってもよらなかったからです。

これは歯科医師の世界も大分変化をしている。ぜひ、お話を伺わなければと思いい参上いたしました。



二階堂雅彦先生 パーソナルヒストリー

ワイス…パーソナルヒストリーをお聞かせください。

慶応義塾高校卒業されて、1981年に「東京歯科大学」を卒業。そのあとすぐに1981～84年と3年間「東京医科大学の歯科麻酔学教室で助手」をなさっています。これはどういう動機で選ばれたのですか？

二階堂先生…卒業して進路を決める時に「歯科麻酔」は面白いなと思っていましたので、歯医者としての本流ではないのですが、私は歯医者の息子だったので、父の役に立つことを勉強しようということで、父に「好きなことをさせて下さい」ということで3年間「歯科麻酔」のほうでお世話になりました。

佐藤製薬の佐藤社長も慶応義塾大学なので、まあ、直接のつながりではないですが「慶応つながり」ということでお知り合いになりました。

ワイズ…1994～97年にタフツ大学歯学部（アメリカ・ボストン）に留学をされていますが、タフツ大学歯学部を選ばれた理由は？

二階堂先生…ボストンには3つの歯学部があります。ボストンで一番歴史があって、地域の方々には非常に信頼されている大学です。

日本ではあまり有名ではないかもしれませんが、アメリカでは「小粒なのに良い学校」という評価があります。

ワイズ…インターネットで調べてみましたが、タフツ大学留学の日本の歯医者さんは非常に多い。

二階堂先生…歯科はたぶん日本に10人

はいる。ほかの学部では外交官の方が多いですね。外交官を輩出する大学としてとても有名でして、何年か前に日本の同窓会がありましたが、外務省の国家公務員の方がかなり多かった。

ワイズ…1997年に先生は「アメリカ歯周治療専門医」になられていますがしばらくアメリカで開業されていましたか？

二階堂先生…いえ、実は私どもの歯科医院は当時「門前仲町」にありまして、アメリカ留学にあたって、医院を友人に預けて、家族を連れて留学していましたので、3年間の留学が諸般の事情でいっぱいという感じでした。

アメリカでは大学病院の医師は学生が行いますから私も大学病院で「歯周病」の治療はしていましたが、アメリカでの開業はしていません。

卒業と同時に、病院に勤める、歯科クリニックを開業するという選択肢もありましたが、帰ってくる道を選びました。

ワイズ…日本のために帰ってきていただいて、誠にありがとうございました。



歯周病のモデル

2003年
アメリカ歯周病学ボード 認定医
(Diplomate, American Board of Periodontology)
日本臨床歯周病学会 指導医

2006年
東京歯科大学 水道橋病院 臨床教授

2008年
東京医科歯科大学 歯学部 歯周病学分野
非常勤講師

二階堂雅彦先生【所属学会】
アメリカ歯周病学会
(American Academy of Periodontology)

アメリカインプラント学会
(Academy of Osseointegration)

日本臨床歯周病学会

日本歯周病学会

日本歯科麻酔学会

『歯周病と全身疾患』のご本について

二階堂先生…学会のほうで今年の初め、3月ごろに出したのですが、これ、専門書なので、ちょっと小難しく書いてありますが、いろんなことがだんだん分かって来ました。

赤ちゃんが育たない、のです。

低体重、未熟児ですね。「未熟児」で生まれてきてしまう。

一番、相関関係が強いのが「歯周病」と「糖尿病」との関係です。

歯医者さんでも「歯周病」→「糖尿病」という方もおられます。…あとは、心臓ですね。

心臓のほうへ歯周病菌が飛んで行く。この2つが代表的なもの、と思います。

歯周病と直接の関係はないと思いますが、誤嚥性肺炎。肺炎菌が肺の中に入り込んでしまう。腎臓であるとか、肝臓であるとかEDとか。これらが徐々に明らかになりつつあります。



肝心かなめの臓器がすべて悪影響を受けてしまいます。

そうした事実を知らないでいることは、非常に怖い事ですね。

糖尿病の場合は、歯周病の治療と糖尿病の治療をできれば同時にやっていたかなければなりません。

お口の中の歯周病がひどくなると、糖尿病もひどくなっていきます。

逆に、お口の中の歯周病が良くなると、糖尿病も良くなっていきます。

歯に対する 考え方の違い

ワイズ…アメリカの女優さん、俳優さんで歯並びの悪い人はいません。映画などを見ていますと、歯列矯正用のマウスピースをした少年・少女が出てきますが、家庭内でも神経質なくらいに美しい歯並びや、健康な歯へのこだわりが強く感じられます。

これは「奴隷制度のあったアメリカ」ならでの特徴なのか、と思うほどです。

洗面所には激しい刺激の「リステリン」のホームサイズ瓶が置かれ、デートに出かける「お兄ちゃん」がしかめっ面をしながら「ガラガラ、くちゅくちゅ、ペッ！」と口臭対策をしています。

キスをする習慣のあるアメリカのほうが「歯の健康」「口腔衛生」に対する考え方が日本より先んじているようです。

日本人も最近は街中の交差点辺りで、日中堂々とキスをするかたも増えているようですので、いずれアメリカに追いつくかもしれません。

それはさておき、日本とアメリカの「歯科治療」というか「歯の健康」に対する違いを教えてください。

二階堂先生…歯周病菌は唾液を介して感染します。だからキスでも移ります。ただ人間には免疫がありますから、歯周病菌に敏感な人と免疫がある人では大きな差がでてきます。敏感な人は10%、歯磨きをしなくとも歯周病にならない人が10%。残り80%が普通に歯周病になる人です。

日本とアメリカの比較をしますと、アメリカは歯科治療費が高額です。会社で社員に健康保険を完備しているところは少ないですね。社会保障で医療保険もあるにはあるけれど州によって歯科医療が入っていないところがあります。

歯医者は高いが、その反面アメリカでは歯が大事で、仕事で面接に行っても歯が悪いと面接に落とされてしまう、こともあるように聞いています。

中産階級以上の方々には特にきれいな歯は大事なポイントですね。「トランプ大統領」「ヒラリークリントン」「オバマ前大



統領」、皆さん歯は綺麗です。

テレビ東京に友人がいて、アメリカには「無料で歯を治療してくれるキャラバン」があってその日になると保険に入っていない方たちが朝の5時から長蛇の列で皆さん並んでいる、という放送番組を制作しました。それほどアメリカでは歯科治療費が高くて保険に入っていない人は歯医者に行けなくて困っている、ということなのでしょう。

ワイス…アメリカでは皆さん涙ぐましい努力をなさっているのですね。しかし、日本では終戦後「国民皆保険」が採用され、国民は貧富の差なく、いつでも誰でも「歯科」を含む「医療」が自分の治療費の30%を負担するだけで受けられます。その「国民皆保険」制度の優秀さが「歯の健康」の軽視につながっていないか？と心配になります。

20代日本人の70%以上が歯周病。 「65歳以上では100%が歯周病」

ワイス…歯ブラシを使ってのプラークコントロール（歯磨き）のほか、有効な手立てはございますか？

二階堂先生…歯周病菌は感染しますが、菌自体はそれほど強い菌ではない。歯周病で死んだ人はいないし、菌と体のコン

デションとの相関関係で感染したり感染しなかったりします。

とはいうものの、**歯周病は気が付きにくい病気**です。

ワイス…日本の歯科医師の方はアメリカ派とスカンジナビア派の2つのグループがあるようですね。

二階堂先生…ヨーロッパも歯周病ではスウェーデン、ノルウエー、フィンランドが有名です。歯周病の世界で世の中を変えようとするような研究は大体ヨーロッパ発なのです。ここ何十年間はそうですね。

日本人は手先が器用ですし、患者さんも歯科医師の言うことをよく受け入れてくれます。

マウスウォッシュは有用か？

ワイス…プラークコントロールが大事といますが、歯磨きだけでは歯周病の予防、治療は難しいようです。

マウスウォッシュで殺菌する必要があるのですか？

よくコマーシャルで見かけるのが、**◆サンスターの『ガム・デンタルリンス』**。ユニークなのは歯科医師を通して販売している**◆ウエルテックの「コンクール」**。

アメリカから来ている**◆劇的に激しい味の「リステリン」**などのマウスウォッ

シュ、◆明治製薬「ポピドンヨード系のうがい薬」が歯周病菌を殺菌するといわれています。

お口の中の歯周病菌を減らすには何が一番良いのでしょうか？

二階堂先生…これが「個人的にどう思うか」ということはできるかもしれませんが、「正確にいうためにこそ研究がある」わけです。

実のところ患者さんに使ってどのくらい良くなったというものはあまりデータがありません。ほぼ無いといってよいのかもしれませんが「動物で実験した」とか、「試験管で実験した」とか、理屈の上では「よく効くもの」があっても、実際に患者さんに使って「よく効いた」「効果があった」というものはありません。

ワイズ…難しいですか？

私は佐藤製薬の医薬品の『アセス』ではないのか？と思いますが・・・。

佐藤製薬の『ACCESS』(アセス)は(故)尾藤昌道常務がドイツのドクターマダウス社から日本に持ち込んだドイツ生

薬の傑作です。なぜ日本の歯医者さんは自分の患者さんにお知らせしないのか不思議です。「ドクターマダウス」は日本の「津村順天堂」のような会社で、『ACCESS』(アセス)は医薬品の歯磨き剤で歯や歯茎を虐める研磨剤を含みません。以前、日本歯科大、日本医科歯科大ほかいくつかの学生諸君に『ACCESS』(アセス)を使って歯磨きをしてもらって65%の有効率だったと記憶しています。

また来年ですが、2018年、平成30年ですね。佐藤製薬では「アセスの改良版を出そう」という話があるようです。新商品になりそうなので、今から楽しみです。

佐藤製薬さんはマジメな会社ですから、どこかの大学、大学病院で臨床データを集めているかも知れませんね。

二階堂先生…2年ほど前に私が学会の理事長になったとき、佐藤製薬の佐藤社長から『アセスの研究を是非やりましょう』というお誘いがありました。学術部長の川庄さんもご一緒でした。



ワイス…そうですか。製薬会社は人の健康を左右するお薬を造っているわけですから「真摯な心構え」が常に求められます。

佐藤社長は学術部長の川庄さんといつもご一緒に、意思の疎通は万全のようです。佐藤製薬は自由な気風のある会社として知られています。

マスコットの「サトちゃん」「サトコちゃん」や厳しく自分を律して活躍するイチロー選手のCMイメージと佐藤製薬の正直さは重なります。

先日、佐藤製薬の川庄学術部長に取材でお会いした時に「2～3件他社を取材したのですが佐藤さんの洗口液はどうなっていますか？」とお尋ねしました。

「口腔内細菌」と「全身病」は密接な関係がある、ことが分かったので洗口液や歯磨き剤の取材をしている。 その辺に詳しい歯科医師の先生をご存じだったら紹介してください、とお願いしました。

効果があるかどうか「エビデンス」を見よう

ワイス…サンスターの『G・U・M (ガム)』



がいいとか、いろいろ言われますけれど、いわゆる『エビデンス』、患者さんに使って「使ったら結果がよかったヨ」というものが出ているのでしょうか？

「リステリン」は、アメリカに「歯肉炎」の「エビデンス」がある、と言っています。「リステリン」が日本上陸したとき、もう大昔ですが共立薬科大学の皆さんと「リステリン」について取り上げたことがあります。内容成分が激しい刺激を伴うものが多く「これは日本では絶対に売れない」との結論でした。

歯科医院で販売されている『Concoll (コンクール)』という製品があります。

二階堂先生…『コンクール』というのは、これは個人的な意見ですが、たぶん「ただの水でうがいするのと変わらない」。

ワイス…『コンクール』にはカテキンが入っているからと私が通っている歯科医師に説明を受けました。

二階堂先生…カテキンならペットボトル



のお茶にも入っている。

『コンクール』というのは「**グルコン酸
クロールヘキシジン**」という有効成分が入っていて、これは欧米では**0.15%～0.25%**で使われています。

しかし、日本ではアレルギーを起こす患者さんが多く、「アナフィラキシー」で死んだ方もいらっしゃいます。

それで、日本の『コンクール』の濃度はボトルに入っている状態で、すでにアメリカの濃度の50%、そこから20倍程度に薄めて使いますから、欧米の濃度の「50分の1」「100分の1」程度とされています。

1994～97年にタフツ大学歯学部（アメリカ・ボストン）に留学していた時は、

手術の後に抗生物質を出さずにクロールヘキシジンを全員に出していました。アメリカで使われているクロールヘキシジン（『コンクール』）は凄くマズイですよ。（笑）

それから長く使い続けていると着色がすごい。ステインで歯が黒くなってきたり、舌の上が真っ黒になります。

しかし、日本で販売されている『コンクール』は全然そうならない、でしょう。
ワイズ…希釈されすぎて薄いから……。

二階堂先生…薄いからなのですよ。

そうすると「水と一緒に」で何も使わないより良いのかもしれませんがほぼ効果は期待できませんと、私共は考えております。



【ワイスの資料】

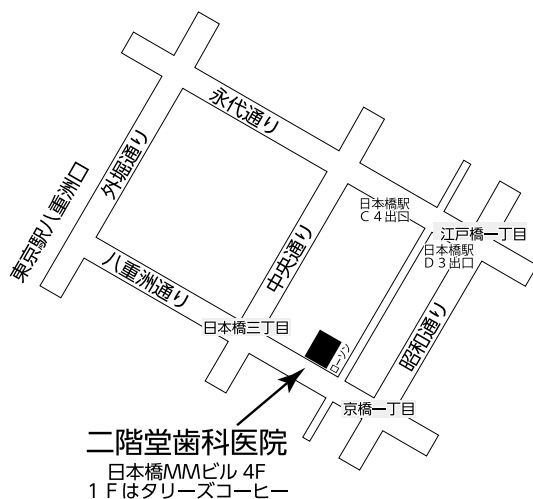
『アセス』

主成分は「カミツレ」「ラタニア」「ミルラ」のハーブ。

カミツレ…カモミール。健胃剤・発汗剤・消炎剤・婦人病の薬などに用いられる。ドイツでは母なる薬草として知られるハーブ。

主成分のカマズレン、アズレンは抗炎症作用、抗菌作用があり、歯ぐきのはれや発赤、化膿に効果があります。

ラタニア…ラタニアの根から抽出したものでタンニン、ラタニンの有効成分を含有し、抗菌作用、止血作用や歯ぐきをひきしめる効果があります。



二階堂歯科医院

東京駅八重洲口を背にして八重洲通りを直進、徒歩約5分。中央通りを越えると左側に二階堂歯科医院の看板あり。ローソンの手前TURRY'S (タリーズ) コーヒーの上、4階。

ミルラ…「語源はエジプトのミイラ」に使われた生薬。ミルラの樹液より抽出したもので、フェノール性樹脂や樹脂酸の有効成分を含有し、はれをとる作用があります。

付録

◎むし歯の原因は好気性菌のミュータンス菌、餌は糖分。

●歯周病菌は嫌気性菌なので歯と歯茎の間の空気の届きにくい場所を好みタンパク質やアミノ酸が餌。プロフィロモナス・ジンジバリス菌他多種多数。

出典

故尾藤昌道常務 「アセス」
「アセス歯ブラシ」
川庄 尚 学術部長 「アセス」



〒103-0027
東京都中央区日本橋3丁目5-12
日本橋MMビル4F

電話 03-3516-1688

受付時間 9:30~13:00
14:00~18:00
土曜日は13時まで

休診日 木曜日・日曜日